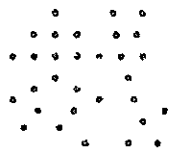


| | |
|-----------|---|
| 裁判長 認印 | 印 |
|-----------|---|

| 調 書 (決定) | |
|---|---|
| 事 件 の 表 示 | 平成30年(行ツ)第235号 平成30年(行ヒ)第256号 |
| 決 定 日 | 平成30年12月13日 |
| 裁 判 所 | 最高裁判所第一小法廷 |
| 裁 判 長 裁 判 官 裁 判 官 裁 判 官 裁 判 官 | 池 上 政 幸 小 池 裕 木 澤 克 之 山 口 厚 深 山 卓 也 |
| 当 事 者 等 | 別紙当事者目録記載のとおり |
| 原 判 決 の 表 示 | 東京高等裁判所平成29年(行ケ)第3号(平成30年3月23日判決) |
| <p>裁判官全員一致の意見で、次のとおり決定。</p> <p>第1 主文</p> <p>1 本件上告を棄却する。</p> <p>2 本件を上告審として受理しない。</p> <p>3 上告費用及び申立費用は上告人兼申立人らの負担とする。</p> <p>第2 理由</p> <p>1 上告について</p> <p>民事事件について最高裁判所に上告をすることが許されるのは民訴法312条1項又は2項所定の場合に限られるところ、本件上告の理由は、違憲及び理由の不備・食違いをいうが、その実質は事実誤認又は単なる法令違反を主張するものであって、明らかに上記各項に規定する事由に該当しない。</p> <p>2 上告受理申立てについて</p> <p>本件申立ての理由によれば、本件は、民訴法318条1項により受理すべきものとは認められない。</p> <p style="text-align: center;">平成30年12月13日 最高裁判所第一小法廷 裁判所書記官 大 園 守 雄 印</p> | |



当事者目録

上告人兼申立人
同代表者代表取締役
上告人兼申立人
同代表者代表取締役
上記兩名訴訟代理人弁護士
被上告人兼相手方
同代表者委員長
同指定代理人

積水化成品工業株式会社

氏名

株式会社積水化成品北海道

氏名

碩 省 三 ほか

公正取引委員会

杉本和行

黒江那津子